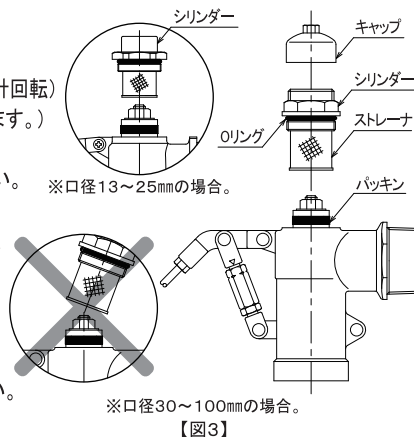


点検方法

【FW型内蔵ストレーナの掃除方法】

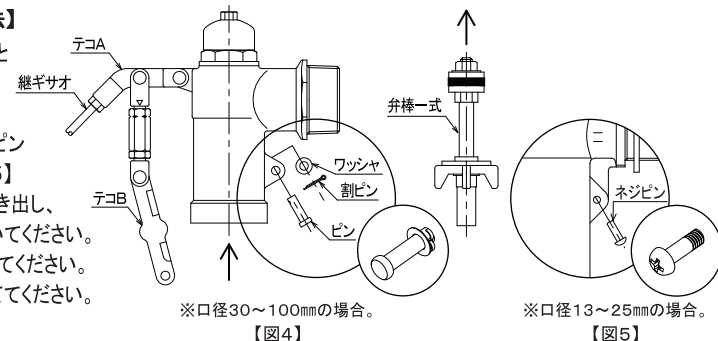
・ストレーナへのゴミ・砂等の詰まりによる吐水量の減少を防ぐため、6ヶ月毎にストレーナの掃除をしてください。

1. 給水側の止水栓を閉じてください。
2. ボールタップ上部のキャップを外してください。(反時計回転)
3. シリンダーはストレーナと共に真上へ外してください。(反時計回転)
(斜めに外すとパッキン等に傷がつき止水不良の原因となります。)
【図3】
4. ストレーナ、ボールタップ本体内部のゴミを取り除いてください。
(ブラシ等で強く擦らないでください) ※口径13～25mmの場合。
5. 清掃後、真上からシリンダー(ストレーナ付)、キャップの順に挿入し、シリンダーを締め付けてください。(時計回転)
(斜めに挿入しOリングに傷がつくと止水不良・水漏れの原因となります。)
6. 給水側の止水栓を開けてください。
7. 止水状態でボールタップから水漏れがないか確認してください。
漏れを見つけた時は再度1～6までをやり直してください。



【FW型弁棒一式の交換方法】

1. ピンを抜く時は、割ピンとワッシャの紛失にご注意ください。【図4】
(口径13～25mmはネジピンを使用しています)【図5】
2. テコBを本体外側まで抜き出し、弁棒一式を下に引き抜いてください。
3. 新しい弁棒一式と交換してください。
4. 分解と逆の手順で組立ててください。



設置されたお客様へ **△注意** 設置後は6ヶ月毎に点検をしてください。

■こんなときは工事店へ連絡してください。

症状	原因
水が止まらない	弁パッキン(弁ゴム)に傷、ゴミかみはありませんか？
	水圧が高すぎませんか？
吐水量が少ない	ストレーナにゴミが付着していませんか？(FW型)
	水圧が低すぎませんか？
異音・振動がする	ボールタップ及び配管はしっかり固定されていますか？
	水面の波浪はありませんか？
	ナットは確実に締め付けられていますか？

KKK 兼工業株式会社

本社工場 〒485-0802 愛知県小牧市大草2036番地

■お客様相談窓口

本 社 TEL (0568)79-2476(代) 名 古 屋 TEL (0568)79-8387
 大 塚 TEL (011)788-2712 大 阪 TEL (06)6541-2040
 仙 台 TEL (022)290-8910 広 島 TEL (0829)20-5151
 東 京 TEL (03)3635-4541(代) 福 岡 TEL (092)472-9106

当社ホームページへアクセス
 URL: <https://www.kanevalve.co.jp>



KANE

横形・受水槽用ボールタップ取扱説明書

設置が完了しましたらお客様にお渡しください。

安全上の注意

■安全のために必ず、下記絵表示の内容をお守りください。

△注意 この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、及び物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

! この絵表示は必ず実行していただく「強制」の内容です。

⊘ この絵表示は、してはいけない「禁止」の内容です。

設置条件に関する注意

- △注意 (強制事項)**
- ! ボールタップを設置する受水槽には、オーバーフロー管を取り付けてください。(止水不良を起こした場合、受水槽からの水漏れの原因となります。)
 - ! ボールタップの止水(波浪上面)位置はオーバーフロー管越流面より低い位置としてください。(適切に閉弁せず、オーバーフロー管から水が流失し続けます。)
 - ! ボールタップを設置する受水槽には満水・湯水警報装置を取り付けてください。(ボールタップが正常作動しない場合、オーバーフロー及び受水不能の検知が可能となります。)
 - ! ボールタップをポンプ等と組み合わせてご使用になる場合はポンプ等に安全装置を取り付けてください。(ボールタップが吐水不良を起こした場合、ポンプ等の破損原因となります。)

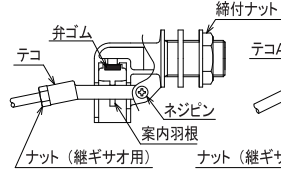
設置(作業)に関する注意

- △注意 (強制事項)**
- ! 設置前に配管内の清掃を十分に行ってください。(異物のかみ込みにより止水不良の原因となります。)
 - ! 継ギサオを締結するナットは推奨トルクで締め付けてください。(不適正な場合は浮子玉、継ギサオの外れ・破損による止水不良の原因となります。)
 - ! ボールタップを設置後は、回りの配管が固定されているか確認してください。(不適切な場合は振動・破損の原因となります。)
 - ! 浮子玉が吐水による波の影響を大きく受ける場合は、波浪防止アダプター:口径20～100mm(別売品)を取り付けてください。または、受水槽内に波よけ板や仕切板等を取り付け、浮子玉に直接波が伝わらないようにしてください。(部品破損による作動不良の原因となります。)
- △注意 (禁止事項)**
- ⊘ スパナ等は本体の締付ボス以外に絶対かけないでください。(部品変形・損壊、製品作動不良の原因となります。)
 - ⊘ 継ギサオは絶対に曲げて使用しないでください。(止水位置の規格値外れ、継ギサオの折損、浮子玉の脱落等作動不良の原因となります。)
 - ⊘ 付属の締付けナット・ワッシャ・パッキンは、ボールタップを受水槽壁面に取付け固定する目的以外にご使用にならないでください。

各部のなまえ

型式：SL

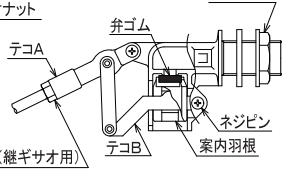
※口径10～20mmの場合。



SL/SH/FW 型用浮子玉口径50mm以下の場合
大きさ・色・ネジ径
以外は共通

型式：SH

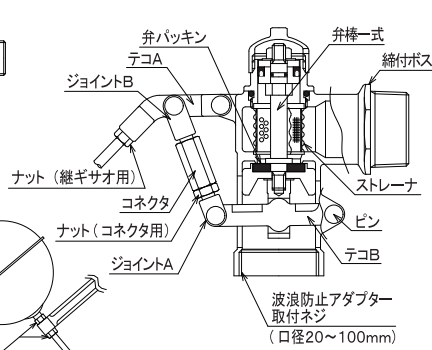
※口径13～25mmの場合。



FW 型用浮子玉口径65mm以上の場合、大きさ・色・ネジ径以外は共通

型式：FW

※口径30～100mmの場合。



波浪防止アダプター
取付ネジ
(口径20～100mm)

ご使用前に下表の製品仕様を今一度ご確認ください。

仕様	適用流体：水道水		適用温度：不凍0℃～60℃	
	最高使用圧力：0.75MPa		最高使用圧力：1.0MPa	
型式	SL		SH	
適用口径	10, 13, 20		25	
FW	30, 40, 50, 65, 75, 100		13, 20, 25	

※海外向け FW 系列 *には最高使用圧力 1.6MPa および海水・河川水・井水・雨水対応機種（内外面・各部品フッ素樹脂コーティング付）あり。

◆1. 継ギサオ用ナット締め付け推奨トルク

型式	口径	10	13	20	25
SL		1.5N・m	2.6N・m	—	—
SH		—	2.6N・m	6.2N・m	—

型式	口径	2.6N・m				6.2N・m	
		13	20	25	30	40	50
FW	65	75	100	125*	150*	200*	
	12.5N・m				仕様による		

◆2. コネクタ用ナット締め付け推奨トルク

型式	口径	13	20	25	30	40	50	65	75	100	125*	150*	200*
FW		2.6N・m				6.2N・m		21N・m		仕様による			

参考図

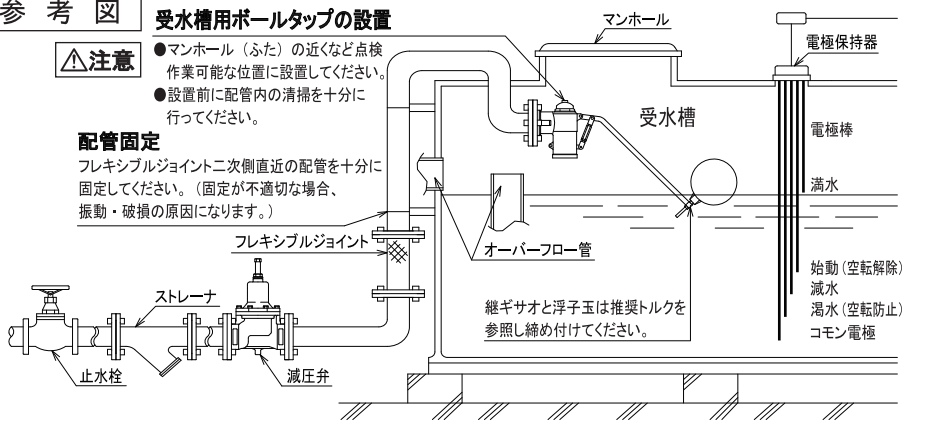
受水槽用ボールタップの設置



- マンホール（ふた）の近くなど点検作業可能な位置に設置してください。
- 設置前に配管内の清掃を十分にしてください。

配管固定

フレキシブルジョイント二次側直近の配管を十分に固定してください。（固定が不適切な場合、振動・破損の原因になります。）

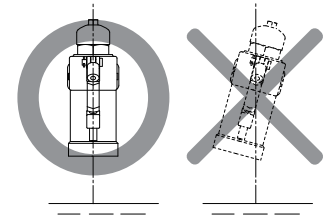


※浮子玉が吐水による波の影響を大きく受ける場合は、波浪防止アダプター：口径 20～100mm（別売品）を取り付けてください。または、受水槽内に波よけ板や仕切板等を取り付け、浮子玉に直接波が伝わらないようにしてください。（部品破損による作動不良の原因になります。）

設置方法

【設置前の準備】

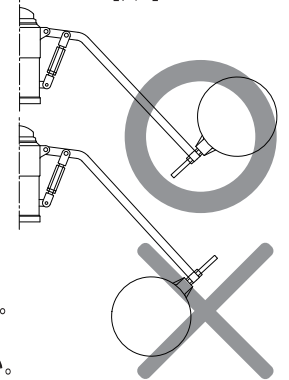
- ボールタップは配管内の十分な清掃後設置ください。
- ボールタップ一次側配管の点検しやすいところに必ずストレーナを取り付けてください。（異物による作動不良の原因となります。）
- シーリング剤を使用して配管する場合は十分に乾燥後通水してください。（ストレーナの目詰まりによる吐水不足や作動不良の原因となります。）



【図1】

【設置要領】

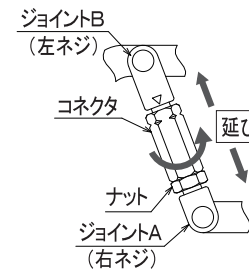
1. ボールタップは水面に対し必ず垂直に設置ください。【図1】
※スパナ等は本体の締付ボス以外に絶対かけないでください。（部品変形・損壊、製品作動不良の原因となります。）
2. 浮子玉を取り付けてください。
※継ギサオを締結するナットは別表◆1推奨トルクで締め付けてください。（締付が不適正な場合は浮子玉、継ギサオの外れ・破損による止水不良の原因となります。）
※型式FW 口径65mm 以上ボールタップの浮子玉取り付け方向は【図2】を参照ください。（逆向きの場合は作動不良となります。）
3. ボールタップの設置後は周りの配管が十分固定されているか確認してください。（固定が不適切な場合、振動・破損の原因となります。）
4. 止水位置（波浪上面）はオーバーフロー管越流面より低い位置としてください。
5. 止水状態において接続部などから水漏れが無い事を確認してください。



【図2】

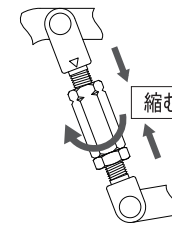
止水位置の調整方法（FW型のみ）

【止水位置を高くする場合】



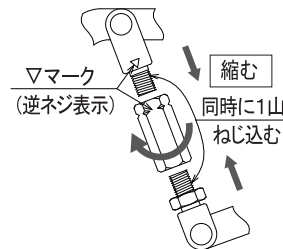
ナットを緩めコネクタを矢印の方向へ回すと、止水位置を高くすることが出来ます。

【止水位置を低くする場合】



ナットを緩めコネクタを矢印の方向へ回すと、止水位置を低くすることが出来ます。

【コネクタが外れた場合】



- ①コネクタのマークとジョイントの▽マーク（逆ネジ表示マーク）同士を合せてください。
- ②コネクタの両端ネジにジョイントA、ジョイントBのネジを同時に1山程度ねじ込んでからコネクタを矢印の方向に回すことで、ジョイントのネジはA、B同時にコネクタへねじ込まれます。



コネクタの位置決定後（別表◆2推奨トルクにて）ナットを固定してください。ジョイントのネジを最低片側3～4山はコネクタにかかるようにしてください。